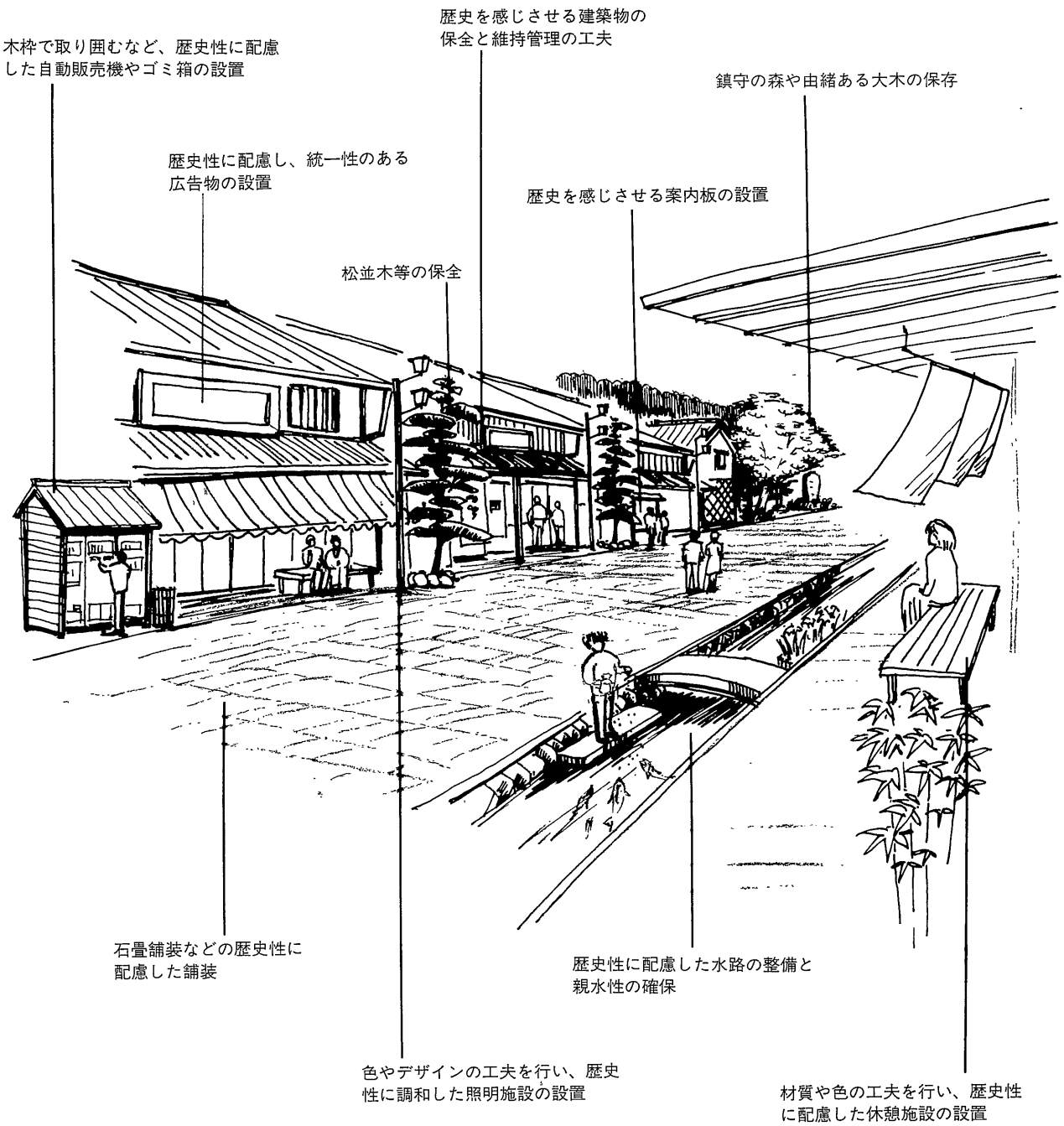
(3) 歴史のゾーンの施策・活動

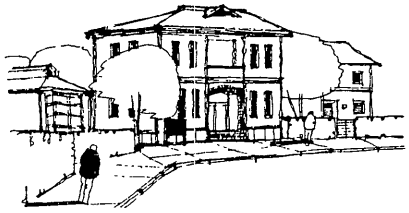
基本目標		推進すべき施策・活動
①	歴史に富んだ地区や建物等の保全を図る	・史跡、名勝、天然記念物の買い上げ・修復 ・民俗、無形文化財の保存 ・歴史的町並みの保存 ・文学碑、記念碑等の保存 ・鎮守の森や由緒ある大木の保存 ・古い建物、地名等の保存 ・文化財等の調査
②	歴史的景観の保全と創造を図る	・歴史的雰囲気に配慮した建物の建築 ・看板や広告物、電柱等の景観的配慮 ・歴史的資源のシンボルとしての活用 ・景観保全意識の普及・啓発
③	歴史に学び、歴史とのふれあいを促進する	・史跡公園（城跡公園、古墳公園など）の整備 ・歴史にふれあうルート（歴史散策路）の整備 ・案内板、ガイドブック等の整備 ・歴史にふれあう施設の整備と利用の促進 ・歴史にふれあうイベントの開催と参加の促進 ・郷土史の整理、編纂 ・歴史にふれあう施設の維持管理体制の確立

★　歴史のゾーンの施策・活動のイメージ

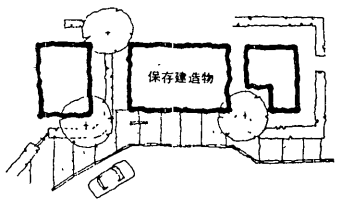


● 歴史的雰囲気に配慮した建物建築や景観的配慮の例

保存建造物としての指定 ――― 条例や保存会等による活動のなかで、各地域の歴史的建物等を保存建造物として指定し、その保存に努めることが望まれます。特に重要なものは各市町村や住民が買い上げを行って、郷土資料館や休憩所（茶屋など）として、有効に活用していきます。また、買い上げの資金などについては、アメニティ・トラスト等の基金制度を確立していくことが必要です。



景観的配慮の工夫 ――― 保存建造物周辺においては、舗装の工夫（石畳舗装や落ちついた色彩のブロック舗装など）や景観に配慮し、統一した広告物の設置、敷地内緑化の推進や木塀・生け垣などの連続化を行うなど、歴史性のある景観づくりに取り組んでいくことが望まれます。



（資料：盛岡市アメニティ・タウン計画）

【「重要伝統的建造物群保存地区」制度】

昭和50年の文化財保護法の改正により生まれた、町並みの〝重要文化財〟の制度です。これで、重要伝統的建造物保存地区に選定されると、町並み整備のための修理修景、消火等の防災施設、民家の買い上げなどの町並み保存事業が進められます。現在、長野県妻籠など25市町村29地区が選定されています。



妻籠宿（長野県）

【全国町並み保存連盟と保存ゼミ】

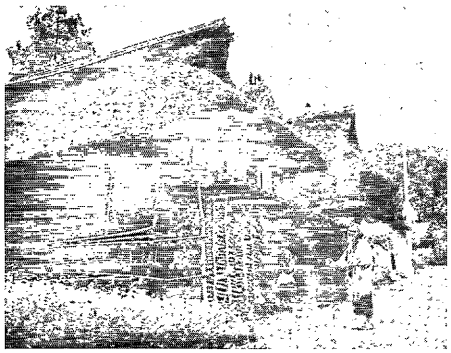
歴史的環境保存の住民側の全国的な運動母体として、昭和49年に生まれた全国町並み保存連盟があります。

同連盟では、住民だけでなく、学者、専門家や行政関係者に呼びかけて、昭和53年に第１回「全国町並みゼミ」を開催し、現在迄に12回を数えています。

〈全国町並みゼミ開催地区〉

S.53	愛知県	名古屋市、足助町	S.59	長野県	飯田市
S.54	滋賀県	近江八幡市	S.60	兵庫県	龍野市
S.55	北海道	小樽市、函館市	S.61	福島県	会津若松市
S.56	香川県	琴平町	S.62	三重県	松阪市
S.57	東京都		S.63	沖縄県	竹富島
S.58	大分県	臼杵市	H.元	栃木県	栃木市

● 歴史的建築物等の保存例



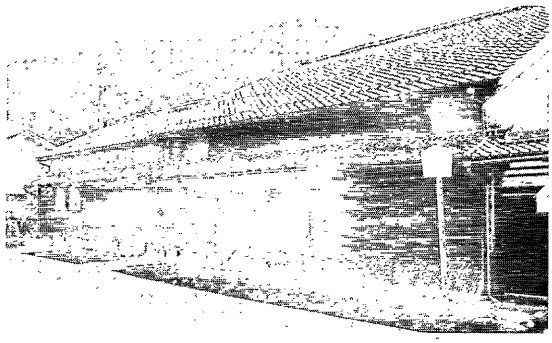
熊川（上中町）▶

熊川は鯖街道の宿場町として、また、国境の要衝として栄えたまちで、保存状態が良く、古くからの町並みを今もよく伝えています。

地区でも、「熊川宿保存特別委員会」が結成され、町並み保存に取り組んでいます。

◀ 板取（今庄町）

板取は、かつて北国街道の宿場町として栄えましたが、現在は過疎化が進行し、残っている建物も数軒を数えるにすぎません。しかしながら、伝統的町並みを保存しようと独自の条例を制定し、保護、保存に努めています。

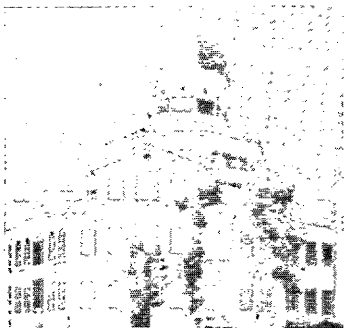




◀ 朝倉氏遺跡（福井市）

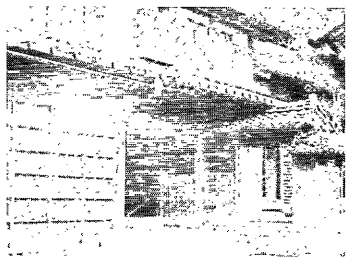
国の特別史跡に指定されている朝倉氏遺跡では、戦国大名朝倉孝景が一乗谷に築城してから、織田信長に滅ぼされるまでの５代にわたる103年間、栄華をきわめた戦国文化の跡がうかがえます。

● 歴史的シンボルとしての活用例

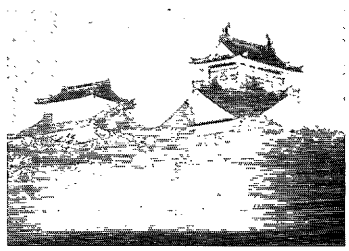


三国町郷土資料館

町のシンボルとして、かつての龍翔小学校を模してつくられました。



河野村の北前船館



ライトアップが行われている大野城

● 名木を利用したまちづくり、むらづくりの例

【巨木の里づくり（佐賀県武雄市）】

全国のベストテンに入る樹齢３千年のクスの木が２本あり、温泉の町としても知られる佐賀県武雄市は、「ふるさと創生資金」を活用して、平成２年度から「巨木の里づくり」に取り組みます。大クスが生き残った豊かな自然環境を守り、うるおいのあるふるさとづくりを目指しており、事業の内容は次の通りです。

・３つの大楠（クス）公園づくり

市内にある３つの大クス周辺を公園化し、巨木の保護を図ります。また、将来は観光コースも設定する予定です。

・平成の森づくり

市の中心部近くにある柏岳（標高 238m）にキャンプ場や宿泊研修施設、森林浴ができるレクリエーションゾーンを建設します。

・プロモーションビデオの製作

「巨木の里づくり」の紹介を含めたビデオを、観光や企業誘致、教育用などに役立てます。

・巨木サミットの開催

全国の巨木、名木を持つ市町村に呼びかけ、巨木サミットを開催し、それぞれの木の歴史を語り、合わせて自然保護のあり方を考えます。

【新・福井名木10選】

国際花と緑の博覧会協会と読売新聞社は、平成２年４月から開催される「花の万博」を記念して、「新・日本名木百選」を選定しました。その一環として、本県の候補となる木が「新・福井名木10選」として選ばれています。

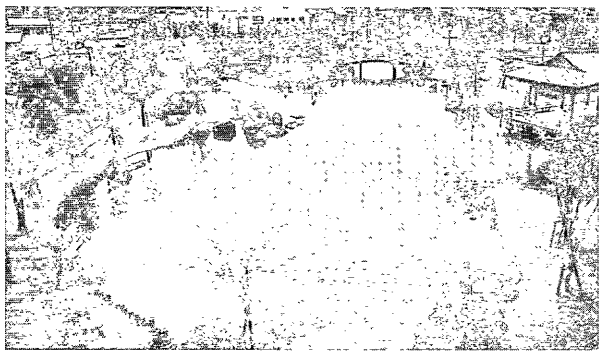
樹種、大きさ、木の姿、人々との結びつきなどを考慮して、以下の樹木が選定されました。

▽	白山神社のカツラ	（大野市）
▽	西光寺の大杉	（勝山市）
▽	専福寺の大ケヤキ	（大野市）
▽	梶神社のタブノキ	（三国町）
▽	三峯のイチョウ	（鯖江市）
▽	山ノ神神社のトチノキ	（敦賀市）
▽	苅田姫神社のムクノキ	（名田庄村）
▽	万徳寺のヤマモミジ	（小浜市）
▽	西福寺のスタジイ	（敦賀市）
▽	円成寺のみかえり松	（三方町）



県内一の巨木の白山神社のカツラ（大野市下打波）

● 歴史性をいかした公園整備の例

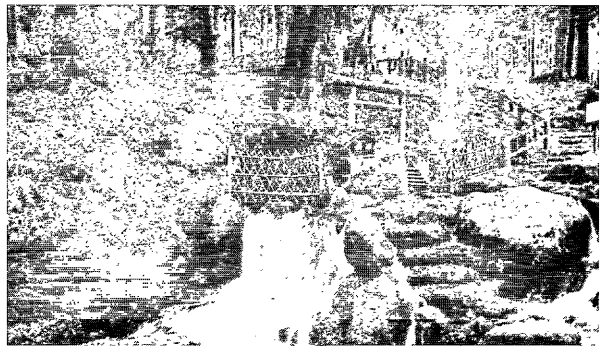


◀ 紫式部公園（武生市）

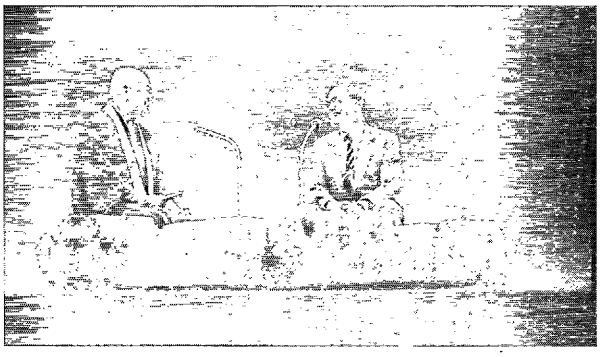
源氏物語で有名な紫式部が、若き日を武生で暮らしたことにちなみ、寝殿造り庭園と歌碑、紫式部像、釣殿などが整備されています。

名水歴史公園（上中町） ▶

名水 100選に選ばれている瓜割の滝を中心に、天徳寺馬頭観世音などの歴史性も含めて、一体的な公園整備を行っています。



● 歴史にふれあうイベントの例



◀ 源氏物語アカデミー（武生市）

「源氏物語」の作者で知られる紫式部が、青春時代の何年かを武生で過ごした史実にちなんで、源氏物語に関する講義、講演、紫きぶ御膳などのイベントが行なわれています。

縄文まつり（三方町） ▶

鳥浜貝塚に代表される地区の歴史を背景として、昭和62年より縄文体験村や土笛コンサート、丸木舟競争などのイベントが行なわれています。

